



m I R a l 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



2学期最初のトイレボラ



9月3日(土)に、2学期最初のトイレボランティアが行われました。もうすぐ洋式トイレへの改修工事も始まる予定です。お世話になった(?)トイレたちともお別れかもしれません。今までのお礼という意味でも、しっかりと磨いてあげたいですね。

今回も大勢が参加してくれました。部活動を引退した3年生も多くありました。

当たり前のようになった、写真のこの光景…いつまでも続けていきたいものですね。みんな後にドンドン続こうぜ!!



チャレンジ前のマナー講座



チャレンジ・ワーク14へ行く前のマナー講座、今年も講師に楠本敦子先生をお迎えして行われました。

今年は一瞬しか覗くことは出来ませんでしたが、相も変わらぬ楠本パワー。一見しただけで、生徒たちを楠本ワールド一色に染めていたように感じました。

チャレンジ・ワーク云々でなく、これから社会の中で、人間関係の中で生きていく上で大切なこと、「笑顔」であるとか「明るさ」であるとか、そういう根本的なことを教えてくださっているように思います。人が話す時の距離感、その時の気持ちが与える影響などなど、本当に大切なことです。今回の講演でこれを知り、気づき、「自分もやってみよう」と思っただけで、もう成功へ一歩近づいたのかもしれない。

これから先の人生で大切なこと…それもしっかりとチャレンジ・ワークで確かめてきて欲しいと思います。

二十四節気 白露

白露とは、大気が冷えてきて露を結ぶ頃のこと。ようやく残暑が引いていき、本格的に開きが訪れてきます。



初候「草露白し(くさのつゆしろし)」9月7日～11日頃

草に降った露が白く光って見える頃。朝夕の涼しさが、くっきりと際立ってきます。



大人の本気 2016夏 ゴジラに想う



この夏、映画「シン・ゴジラ」が、予想をはるかに上回る大ヒットとなっています。

自他共に認める「怪獣・特撮マニア」の私としましては、当然公開2日目に観に行きました（初日ではないところがカワイイですね：苦笑）。当初はそれほどの期待もなく、「ゴジラと名がつけば何でも観る！どんなことになろうとも最後までつき合う！」という気持ちで行ったものです。しかし…結果として首の骨を折られるくらいのショックを受けることになりました…。

覚えておいでの方もいらっしゃるでしょうか？PTA広報誌「てんじん」の、教職員へのインタビューでの「中学生の時の夢は？」に、私は「映画監督（ゴジラ系）」と答えていました。その頃の、子どもに迎合したような正義の味方っぽいゴジラ、あまりにも不細工な（私基準）デザインにガックリきており、「俺が作ったら、とてつもなく怖い、シビアな人間対ゴジラの映画を作るのに」と、世間知らずの極みのように思っていたのでした。

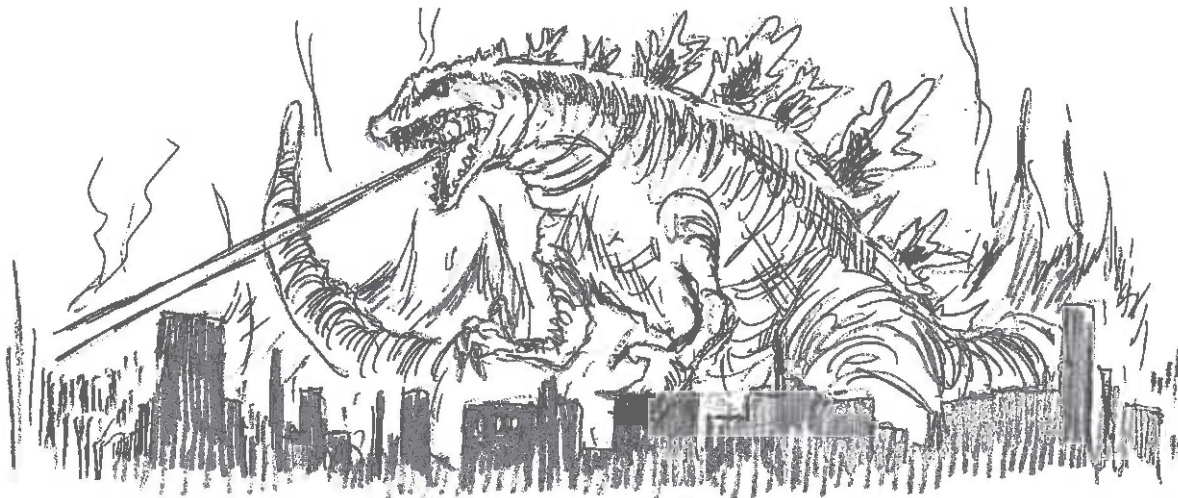
今回観た「ゴジラ」。もちろん、様々な違いはあれど、自分が夢想していたゴジラにかなり近いものがあり、その面白さに狂喜しつつも、悔しさも同時に覚えるという、身をよじるような、なかなかの体験を暗がりの映画館の中でさせてもらいました。

「もしゴジラが、今の日本に上陸したら…？」…そんなバカらしいことを、と思う人も多いでしょうが、「もしマグネチュード7の大地震が来たら…」と、そんな違いはないように思います。日常生活を普通に過ごす限り、なかなか考えられない、想像できないような事態を想定し、シミュレーションする、これこそが「危機管理」ですね。そのような「危機管理」を、ゴジラという架空の生き物を使い、大人が本気で考え、本気で作り、本気で公開したこと、それが一番価値のあることなのかもしれません。

あの頃の夢を再び思い出す…甘酸っぱい想いもしっかり堪能しました。

自分が創ったわけではないけれど（むしろ、そんな夢は忘れていたくらいですが）、誰かがその夢を形にして見せてくれた…それもある意味、夢の実現の一つと言えるかな？と想ったりしています。

今、中学生のみんなも、頭に思い描く夢のある人も多いことでしょう。その夢が、どんな形であれ叶えられることを祈っています。



「著作権」がありますので、あくまで「ゴジラのような怪獣」ということでお願いします（苦笑）。